

## ○ 軽微な改善部品の研究開発

高齢者、障害者等の様々な施設利用上のニーズを踏まえて、既存施設が維持管理費程度の改善でより多くの人々が利用しやすくなる軽微な改善部品の試作調査を実施。  
(実施方法)

### (1) 軽微な改善部品の試作

- ・ 障害者、UDまちづくりに関する知識のある建築士、部品製作企業関係者等で検討会を構成し、軽微な改善部品を検討、試作。

### (2) 試用調査

- ・ 部品の試用に際しての利用者の意見のアンケートを実施。

(H17年度作成部品)

### ● 車いす扉付け足し取っ手

壁と扉取っ手との隙間が狭い箇所や、袖壁がない箇所など、車いすに乗ったままでは近づきにくく手が届きにくい箇所に設置することで、扉の取っ手をつかみやすくする部品。



### ● トイレの凹凸表示板設置箇所

一人でも多くの方が、簡単に男子トイレ・女子トイレの場所を知ることができるように、点字（上下2ヶ所）、浮き文字（男・女）、凹凸マーク、及び英文字とハングル文字、トイレの入口方向を示す矢印を組み込み試作したもの。



(H18年度作成部品)

### ● UDトレイ（ひらいておいてべんりだな）

トイレ内や洗面台の周囲などで、ポーチ、携帯電話、傘、杖などの小荷物を少し置きたい場所に取り付ける後付式の簡易な棚。普段は閉じていて、必要な時に開いて利用できる。



(平成19年度作成部品)

### ● つなぎ手すり

廊下、階段等に設けてある手すりが連続していなかったり、階段の終端まで手すりが無いケースの改善部品として、簡単に取り外しのできる手すりを試作したもの。

